

CS こひつじ科礼拝式次第

2022年2月6日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「主は羊飼ひ、わたしには何も欠けることがない。」

詩編 23編1節

5、かみさまは（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ マタイによる福音書 6章9～13節

だから、こう祈りなさい。

『天におられるわたしたちの父よ、
御名があがめられますように。
御国が来ますように。
御心がおこなわれますように、天におけるように地の上にも。
わたしたちに必要な糧を今日与えてください。
わたしたちの負い目を赦してください。
わたしたちも自分に負い目のある人を赦しましたように。
わたしたちを誘惑に遭わせず、悪い者から救ってください。』

おはなし 「みこころのままに」

加藤良明先生

イエスさまが山の上で大勢の人たちにお話をされた「主の祈り」は、教会学校や牧師先生が礼拝でお話をされた時にみなでお祈りをするのでよく知られていますね。先々週の一つ目のお祈り、先週の二つ目のお祈りに引き続き、今日はその「主の祈り」、三つ目のお祈りについてのお話です。

「御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ」

さて、全てのお祈りについても同じですが、例えばこのお祈りの文を「ミココロノテンニナルゴトク、チニモナサセタマエ」とただ単に口に出して言うても神さまには届きません。それはなぜかというと、神さまは私たちの想いというものを受け取ってくださるからです。お祈りというのは、その願いの意味をよく知り、こころを込めて神さまに私たちの想いを伝えることだからなのです。

では、「御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ」という願いの意味についてみなさんも考えてみましょう。この祈りの文を私たちが普段使うようなものにとすると、「神さまがいらっしゃる世界のよう

に、私たちが住むこの地上の世界もそうなりますように」という言い方になると思います。神さまがいらっしゃる世界というのは、私たちが御国とか天の国と呼んでいる世界のことですね。そこは神さまの思い（御心ともいいますね）で満たされた、正しさと愛のこころと平和の世界です。私たちが住むこの地上の世界も、その神さまの世界のようになりますようにという願いではあるのですが、この地上の世界の何が変わるのでしょうか？海や山、森や畑、学校のような建物、勉強すべき科目？

変わるのは人間のこころです。その他のものは必要に応じて変わっていくこともあるかとは思いますが、「世界」というものはそこにいる人たちのこころと想いによって出来ていくものです。「私たちが住むこの地上の世界もそうなりますように」という願いは、この地上の私たちも神さまの思いである、正しいこころ、愛のあるこころに満ちた者となるように導いてくださいということなのです。

今週もイエスさまが教えてくださったこれらの願いを覚えて、元気に過ごしていきましょう。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂２階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

68、イエス様についていこう（こどもさんびかをお用ください）